



第一礼拝次第

説教・司会：渡真利彦文牧師
音響：郭永東牧師

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		〃	
ブレイズ	「主の前にひざまずき」 「イエスが愛したように」	〃	
聖書朗読	使徒言行録 11:19-26	司会	
祈禱	(新約聖書 p235)		
賛美	新生 369	会衆	
説教	「アンティオキアの教会、アジアの教会」		
祈禱			
賛美	新生 363	会衆	
献金			
報告		司会	
頌栄	新生 672b	会衆	
祝禱		牧師	



ファミリー礼拝

聖書：出エジプト記 6:28-7:7
メッセージ：「モーセとアロンと」

＜巻頭言＞

「世の人々に伝えよう」②

牧師 渡真利彦文

人々に仕えることは愛の業をすることです。聖書によれば、それには順序があって、まずクリスチャンに対し、そして次に、ノンクリスチャンに対してです。(ガラテヤ 6:10)。ノンクリスチャンに仕えることは、クリスチャンに仕えることよりはるかに難しいでしょう。しかし、主イエス・キリストの目、主イエス・キリストの心を持てば、決して不可能ではありません。しかし、普通に考えれば、決して容易なことではありません。世の人々であるノンクリスチャンに仕えるためには、生まれながらの利己的な自我に死ななければいけないものではありません。しかしながら、幸いなことは、私たちクリスチャンは主イエス・キリストが十字架で死なれた時、その主イエス・キリストと共に生まれながらの古い自我に死んだのです。

(ガラテヤ 2:20)。ですから、そういう生活をする事ができるわけです。そういう生活とは魅力的な生き方です。利己的な生き方に魅力を感じる人はいません。利己的な生き方から真に愛と真実な人に変えられ、愛の業をすることによって人々に仕えていくとき、その人々はその魅力を知りたいと思うでしょう。その時、あかしをしてください。

愛するとは、こちらがそう思うことではなく、相手が愛されていると感じるのでなければなりません。人は愛されていると感じ始めると、心を開きます。そしてその人は変わります。